

委託事業実施内容報告書

平成21年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【日本語教室の設置運営】

受託団体名 上田市

1 事業の趣旨・目的

在住外国人の就労の壁となっている日本語の能力向上と具体的な就職活動の手法の習得を目的とし、日本語能力試験3級程度の実力育成と、就職活動に必要な知識の習得を目指す。また、実施会場は2箇所とし参加者の利便を図る。

2 運営委員会の開催について

【概要】

開催日時	出席者	議題	会議の概要
5月20日	小長谷悠紀、天野弥生、内久根加代子、成澤みつ子	(1)「生活者としての外国人」のための日本語教室事業について (2)委託事業の内容と運営について	委託事業の概要説明と、委託事業計画書に沿って実施する内容と運営について協議した。
12月22日	小長谷悠紀、天野弥生、内久根加代子、成澤みつ子	(1)委託事業の事業報告及び決算報告について (2)受講者の終了後支援について	事業の報告と会計報告を行い了承を得て、反省点や課題について協議した。

【写真】

運営委員会の写真については委員の肖像権に配慮し掲載しない。

3 日本語教室の開催について

- ① 日本語教室の名称 就労を目指す外国人のための日本語教室
- ② 開催場所 上野が丘公民館／丸子文化会館【丸子ふれあいステーション】
- ③ 学習目標 日本語能力検定試験 3 級合格
- ④ 使用した教材・リソース 「にほんごチャレンジ 3 級(文法と読む練習)(ことばと漢字)」「実力アップ聴解問題」「みんなの日本語文型練習帳 I と II」「にほんご宝船」「スーパーキット」「みんなの日本語 I と II」「みんなの日本語イラスト集」「2007 年度と 2008 年度日本語能力試験問題 3 級」「模擬テスト(アルク)」「漢字カード」「漢字マスター 3 級と 4 級」「ブラジル人の就職に役立つ会話集」
- ⑤ 受講者の募集方法
チラシを関係機関や市内の日本語教室、公民館に配り、学習者を広く募った。
外国籍が多く集まる多文化共生推進協会準備室のボードに張り、紹介した。

丸子教室、上野が丘教室の2つの教室の「チラシ兼申込用紙」を添付します。

- ⑥ 受講者の総数 40 人(延べ人数ではなく、受講した人数を記載すること。)
- ⑦ 開催時間数(回数) 60 時間 (全 24 回)

⑧ 日本語教室の具体的内容

【上野が丘教室】

回	開催日時	時間数	参加人数	国籍・母語（人）	教授者・補助者人数	内容
①	7月11日 13:00-15:00	2時間	12人	ペルー国・スペイン語（4人） ウガンダ国・英語（1人） ブラジル国・ポルトガル語（6人） エクアドル国・スペイン語（1人）	教授者1人 補助者3人	て形／た形学習に ほんごチャレンジ3級 【3話】 特別教材使用 【既存のテキストから抜粋したオリジナル作成教材】
②	7月18日 13:00-15:00	2時間	14人	ペルー国・スペイン語（5人） ウガンダ国・英語（1人） ブラジル国・ポルトガル語（5人） エクアドル国・スペイン語（1人） ボリビア国・スペイン語（2人）	教授者1人 補助者3人	学習 ～たり、～たりします。 ～たまま ～たらどう ～てもにほんごチャレンジ3級【7話】
③	7月25日 13:00-15:00	2時間	13人	ペルー国・スペイン語（2人） ウガンダ国・英語（1人） ブラジル国・ポルトガル語（7人） エクアドル国・スペイン語（1人） ボリビア国・スペイン語（2人）	教授者1人 補助者3人	学習項目 書く： 暑中見舞いを書く。 読解： 「仕事のレポート」
④	8月8日 13:00-15:00	2時間	10人	ペルー国・スペイン語（1人） ウガンダ国・英語（1人）	教授者1人 補助者3人	学習項目 ～たい。 ほしいです。

				ブラジル国・ポルトガル語 (6人) ボリビア国・スペイン語 (2人)		書く： セタの短冊に書く。 読解： セタにねがいを
⑤	8月22日 13:00-15:00	2時間	5人	ウガンダ国・英語 (1人) ブラジル国・ポルトガル語 (4人)	教授者 1人 補助者 3人	学習項目 授受表現 ～しやすい／～し にくい にほんごチャレン ジ3級【4話と9話】
⑥	8月29日 13:00-15:00	2時間	8人	ウガンダ国・英語 (1人) ブラジル国・ポルトガル語 (4人) ボリビア国・スペイン語 (2人) 中国・中国語 (1人)	教授者 1人 補助者 3人	学習項目 ～ことが出来る ～んですが 丁寧語の使い方 にほんごチャレン ジ3級 【16話と11話】
	9月12日 13:00-15:00	2時間	5人	ブラジル国・ポルトガル語 (2人) ペルー国・スペイン語 (1人) ボリビア国・スペイン語 (2人)	教授者 1人 補助者 3人	学習項目 ～なければならない ～なくてもいい ～てはいけない にほんごチャレン ジ3級 【17話】
	9月19日 13:00-15:00	2時間	3人	ウガンダ国・英語 (1人) ブラジル国・ポルトガル語 (1人) ペルー国・スペイン語 (1人)	教授者 1人 補助者 3人	学習項目 比較の文： 仕事と家族とどち らが大切？ にほんごチャレン ジ3級 【23話】 能力試験模擬

	9月26日 13:00-15:00	2時間	4人	ブラジル国・ポルトガル語 (2人) 中国・中国語 (1人) ペルー国・スペイン語 (1人)	教授者1人 補助者3人	学習項目 ①～⑧の学習内容 でわからないところ を聞く。 能力試験模擬
	10月10日 13:00-15:00	2時間	4人	ウガンダ国・英語 (1人) ブラジル国・ポルトガル語 (1人) ペルー国・スペイン語 (1人) 中国・中国語 (1人)	教授者1人 補助者3人	学習項目 履歴書の書き方 総復習 能力試験模擬

【丸子教室】

回	開催日時	時間数	参加人数	国籍・母語 (人) △=半分受講生	教授者・補助者人数	内容
①	7月4日 13:00-15:00	2時間	15人	ペルー国・スペイン語 (2人) ブラジル国・ポルトガル語 (11人) 中国・中国語(2人)	教授者1人 補助者3人	オリエンテーション: プレイスメント テスト:漢字練習
②	7月11日 13:00-16:00	3時間	14人	ペルー国・スペイン語 (2人) ブラジル国・ポルトガル語 (10人) 中国・中国語(2人)	教授者1人 補助者3人	ワークショップ 「雇用のこと」 実践 面接の練習 漢字の読み (4級)
③	8月1日 13:00-16:00	2時間	7人	ペルー国・スペイン語 (2人) ブラジル国・ポルトガル語 (6人)	教授者1人 補助者3人	履歴書について 4級漢字読み
④	8月8日 13:00-16:00	3時間	8人	ペルー国・スペイン語 (2人) ブラジル国・ポルトガル語 (6人)	教授者1人 補助者3人	授受表現 漢字マスター4級

⑤	8月22日 13:00-16:00	3時間	2人	ブラジル国・ポルトガル語(2人)	教授者1人 補助者3人	自己紹介 疑問詞、助詞の整理 読解/聴解
⑥	8月29日 13:00-16:00	3時間	1人	ブラジル国・ポルトガル語(1人)	教授者1人 補助者3人	授受表現の待遇表現 漢字マスター
⑦	9月5日 13:00-16:00	3時間	3人	ブラジル国・ポルトガル語(3人)	教授者1人 補助者3人	様態と伝聞「そうです」 漢字マスター
⑧	9月12日 13:00-16:00	3時間	3人	ブラジル国・ポルトガル語(3人)	教授者1人 補助者3人	形容詞、名詞の変換練習 読解 求人の子ラシ作り 実力アップ3級
⑨	9月26日 13:00-16:00	3時間	1人	ブラジル国・ポルトガル語(1人)	教授者1人 補助者3人	ブラジル人を囲んでフリーディスカッション
⑩	10月10日 13:00-16:00	3時間	2人	ブラジル国・ポルトガル語(3人)	教授者1人 補助者3人	読解チャレンジ 聴解
⑪	10月17日 13:00-16:00	3時間	2人	ブラジル国・ポルトガル語(2人)	教授者1人 補助者3人	日本語能力試験 問題実施/回答
⑫	10月24日 13:00-16:00	3時間	1人	ブラジル国・ポルトガル語(1人)	教授者1人 補助者3人	読解 (伝聞、様態) 聴解 (グラフを読む等)
⑬	11月7日 13:00-16:00	3時間	5人	ブラジル国・ポルトガル語(5人)	教授者1人 補助者3人	日本語能力試験 問題実施/回答
⑭	11月14日 13:00-16:00	3時間	5人	ブラジル国・ポルトガル語(5人)	教授者1人 補助者3人	苦手分野の過去問多数に挑戦

⑨ 特徴的な授業風景(2～3回分)

※丸子教室の特徴的な授業風景その1

授業日：7月11日(土) 13:00～16:00

場所：丸子文化会館 大会議室

講師：成澤みつ子 補助者：羽田、滝沢、佐瀬、(通訳：陳)

使用教材：漢字マスター4級本冊、フラッシュカード4級、漢字一覧4級

面接の受け方、ブラジル人の就職に役立つ会話集

講座内容：

ワークショップ：

- ① もし社長だったら「どんな人を雇いたいか、雇いたくないか」
- ② 「なぜ」
- ③ 気をつけること、分らない事、経験談など

実践

- ① 面接の練習〔受講者が受ける役、面接する役に分かれる〕
- ② 気づいたこと〔実際に面接をうけて〕
- ③ ことば使いと身だしなみ

4級レベルの漢字読み〔50字〕

申し送り事項

- ① 4級レベルの漢字50字を定着させる目的で宿題として出す。
- ② 面接の参考資料を渡す。
- ③ 平仮名が読めない、書けない人は7月中に覚える。50音一覧表を自宅学習用に渡す。
- ④ 土曜、日曜日のアルバイトで、欠席する学習者がでた。



< 教室の様子 (面接の練習：丸子教室) >

※丸子教室の特徴的な授業風景その2

授業日：9月12日（土）13:00～16:00

場所：丸子フレアイステーション地域活動室

講師：天野弥生 補助者：玉井、小林、成澤 上田市：高橋

使用教材：チャレンジ、プリント〔にほんご宝船〕実力アップ3級〔聴解〕

講座内容：

1. 形容詞、名詞の変換練習
2. 読解チャレンジ 3. 4. 5. 6.
3. 求人チラシをつくろう！

学習者を中心に3つのグループを作り、グループごと話あって決める。

① どんな会社か決める。

（3人それぞれの夢があり自分が社長だったらと考えながらチラシの内容が決まってゆく。）

② 資本金はいくらにするか決める。

③ 従業員は現在何名雇用していて、何名募集するかを決める。

④ 交通費のこと、雇用保険のこと、厚生年金や社会保険のことを話し合う。

⑤ 最終的に一枚の求人広告を仕上げ、他のグループにむけて説明し発表した。

4・聴解問題〔実力アップ3級〕を21、22、25、26、31、32、37,38

5 感想と伝言：チラシ作り①～5までは、本気になって作成できるチラシ作りになった。

日本人の補助者を交えたディスカッションやワークショップは効果的であった。



<授業の様子（丸子教室）>

※上野が丘教室の特徴的な授業風景

授業日：7月11日（土）13:00～15:00

場所：上野が丘公民館

講師：中里章子 補助者：伊藤文子 樋村雅子 井上悟司 上田市：高橋

使用教材：チャレンジ3級〔文法と読む練習〕〔ことばと漢字〕

みんなの日本語Ⅰ－Ⅱ 文型練習帳 イラスト集

講座内容：文法／漢字／会話

※ チャレンジ3級を使って文法を学習しながら会話や漢字も覚える。

※ レッスン1 「ボランティア教室へ」

文型1・・・日本語を教えてください。

文型2・・・仕事が終わってから日本語教室へ行きます。

文型3・・・この日本語教室に来たことがあります。

〔て〕形を教える。

- ① 動詞のフラッシュカードで動詞のグループ分けをする。
- ② みんなの日本語14課から動詞のグループ分け資料を利用
- ③ 練習 14課2と14課3 14課4 15課1 をプリントして渡し、書き込みしながら「て形」を作る練習を重ねる。
- ④ 本文を読み、フラッシュカードを学習者に配り、文型を使った文章を作り、ペアワークで会話を楽しむ。
- ⑤ 文型1と文型2の練習をする。

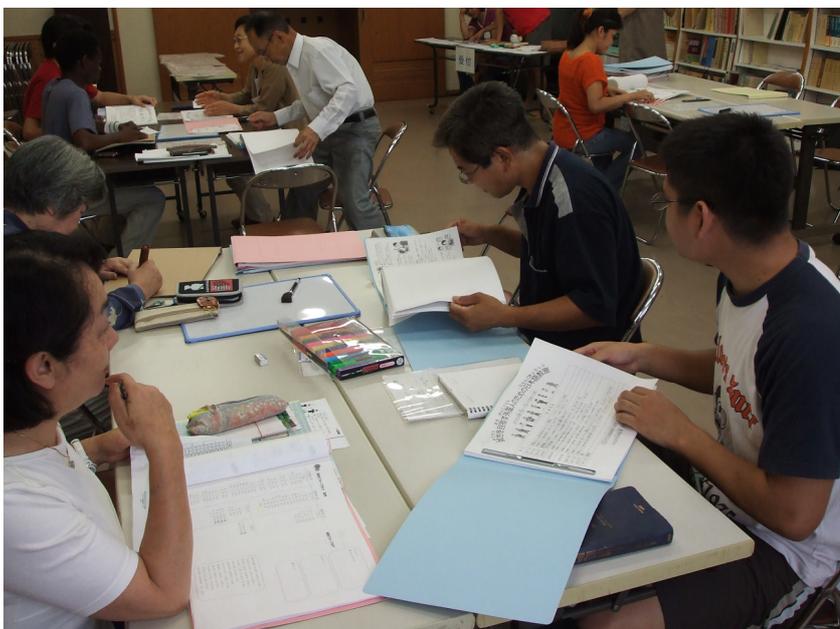
〔た〕形を教える

- ① 動詞のフラッシュカードで動詞のグループわけをする。（14課）
- ② 練習 19課2 て形とた形の練習問題を使って練習する。
- ③ 確認 19課1 た形の作り方を確認する。
- ④ 文型3を練習する（～たことがあります。）
- ⑤ 19課3と19課練習C-1を使って練習する。
- ⑥ 新しいことばの練習を読んで練習する。
- ⑦ 本文を読み、フラッシュカードの動詞を使い応用練習をする。〔文を作る〕
- ⑧ 練習問題でテストする。
- ⑨ 新しい漢字を書き取りテストする。

感想

1. 動詞のグループ分けが始めての学習者が多かった。{～ます}を取って「て」に変えて「食べてください」に変える作業は理解しやすかったようだ。
2. 練習問題では書き方練習や文章作りにもつなげた。
3. 数回一斉授業で行い、その後レベル別のグループで指導する。

4. 系統だった文法積み上げ式の授業に先生方も挑戦してみたがなかなかうまく指導できなかったことが反省。
5. 夏休みにかかったばかりでなく、就職状況や失業など最悪な状況の時期であったから、勉強はしたいけれど、それ以上に切実な問題があり、土曜のアルバイトやパート、農家にお手伝いなどで来られなくなった生徒さんが多く出た。この講座をきっかけに熱心に日本語を学んで3級か2級をとろうとする学習者もでた。



教室の様子(上野が丘教室)

⑩ 活用した日系人等(日本語を母語としない)の名簿

氏名	母語(国籍)	来日年(日)数	参加回数	当該教室での役割
佐瀬真理	ポルトガル語 (ブラジル国)	10年	3回	授業補助, 通訳

4 事業に対する評価について

① 当初の学習目標の達成状況

「日本語能力試験 3 級合格」という目標に到達したのは 2 名。

② 学習者の習得状況

「短期間のプログラムであり、ちょうど夏休みと時期が重なっていた点、土曜日を使っているアルバイトや失業のための転職や転出などで受講生の人数が減少。

③ 日本語教室設置運営の効果, 成果

少人数になってしまったが、プロの日本語教師から指導を受けられたことで問題点の解決に結びついたと同時に、実力がついた。

④ 地域の関係者との連携による効果, 成果 等

短期間であったため、また、時期的なことも影響し、連携はうまく出来ない状況であった。

効果については受講者の就職などに結びついた点はよかった。

⑤ 改善点, 今後の課題について(具体的に記述する。)

a. 現状

時間帯の設定を考える。受講者の要望を取り入れ、夜などに開講する。

b. 今後の課題。

日本語 3 級以上を勉強できるよう指導者側の実力もあげる努力をする。時間数が足りないなので、連続で「集中講座」を開くなど工夫する。

c. 今後の活動予定, 展望

10 名ほどが継続を要望しているので引き続き時間帯など考慮して日本語教室を開講してゆく。

③その他参考資料

別紙のとおり

※写真は、肖像権等に配慮し、差し支えないものを添付すること。